

子供たちの「よりよいひとりだち」のために

学び向上 中津川プラン ～令和7年度全国学力テストの結果から～

※全国学力テスト（「全国学力・学習状況調査」）とは、国語と算数（数学）、理科、英語（令和7年度実施なし）の基本的な知識・技能と活用の力を測るテストと、学習や生活についての意識調査を行うものです。（小6と中3対象）

【市全体の結果】

小学校算数・国語、中学校数学は改善傾向です。中学校国語は少し課題が残ります。

【学力を伸ばすポイント】

「判断の根拠・過程を明らかにしながらアウトプットしていくこと」

「自分の学習・生活習慣をモニターし、改善できる力の育成」

【学力テスト】



- ・小学校国語においては、知識・技能として「情報の扱い方」、中学校国語では、思考・判断・表現として「話すこと・聞くこと・読むこと」に関わる問題の正答率が、全国平均と比べて高い傾向です。ただし小中共に「意図や目的に応じて文章を書く」という項目で課題が残ります。日記や生活記録、授業のまとめなどを自分の言葉で書くことが大切です。
- ・算数は特に小学校において全国平均との差が縮まっています。誤答の原因は、領域に関わりなく、用語の意味や性質について正しく理解していないことや解答の過程を自分の言葉で説明できていないことでした。日々の授業や家庭学習において、教科の基礎・基本はもちろん、なぜそうなるのかという判断の根拠や過程を明確にした上でアウトプットしていくことが大切です。

【意識調査】



- ・生活習慣（早寝・朝ごはん等）の定着は、全国平均を上回っています。
- ・一人あたりの家庭学習時間は、小学校において増加の傾向にありますが、小・中ともに全国平均を下回っています。
- ・前向きな回答をする子供が増えてきていた「夢や希望」「自己有用感」等に関わる質問項目について、少し減少傾向にあります。

◆市全体で、学力アッププログラム（生活・学習習慣づくり）・絆プランを、今後も続けていきます。

◆学力向上のためには、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善と家庭での学習時間を増やすことが必要です。

■市では

- ・学校を訪問し、子供たちの姿を通して、よりよい指導について指導・助言をします。
- ・先生方が主体的に学べる職員研修を工夫します。
- ・絆プラン（読書）を進めます。



今後さらに！

■学校では

- ・「学力向上一点突破」（各学校の学力を向上させるポイント）や学力テストで明らかになった自校の課題改善に取り組みます。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点から、更に授業改善を進めます。

■家庭では 学力アッププログラムと絆プラン（読書）の継続と認め励ましをお願いします。